

一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 令和7年度 定時総会 議事録

日時：令和7年3月14日（金）16時00分～17時45分

会場：ビジョンセンター横浜西口2階 201号室+Web（Zoom Web会議）

現地参加者（敬称略）

○代議員：網野 一真、飯塚 雄次、市村 丈典、伊藤 剛貴、稲田 佑亮、井上 裕貴、岩本 義弘、上ノ段 友里、浮谷 聡、内山 将伸、梅原 健吾、大谷 俊裕、岡本 勇二、小澤 有輝、柿本 秀樹、金谷 法好、川澄 賢司、小枝 伸行、坂田 幸雄、田中 亮、長谷川 英利、畠山 智明、久松 大祐、古田 裕幸、本田 泰斗、本田 雅志、三星 勇輝、三宅 知宏、宮田 祥一、村上 明男、村上 通康、村田 志帆、山田 早

○理事：大塚、小笠原、鈴木（賢）、松井、米村、青柳、川上（理事と代議員を兼任、以下「兼任」）、小井土（兼任）、清水（兼任）、下川、高橋、玉木、長久保、中澤、中山（兼任）、縄田（兼任）、野村、松尾（兼任）、村田（兼任）、山口（健）、山口（拓）

○監事：加藤、山本

○名誉会員：遠藤

○総務：石原、内坪、長渡、餅原

○事務局（毎日学術フォーラム）：川出、鈴木（政）

Web参加者（敬称略）

○代議員：有馬 純子、飯田 遼、五十嵐 保陽、石森 雅人、市倉 大輔、伊與田 友和、植木 大介、内田 まやこ、衛藤 智章、太田 貴洋、大橋 養賢、緒方 直美、香取 哲哉、小林 一男、鈴木 毅、鈴木 直哉、高田 慎也、寺菌 英之、長沼 未加、野村 充俊、久田 健登、藤田 行代志、山口 俊司

○理事：近藤、櫻井（兼任）、鈴木（真）、花香

○総務：盛川、松浦

欠席者（敬称略）

○代議員：池末 裕明、河添 仁、組橋 由記、櫻下 弘志、佐藤 淳也、佐藤 由美子、篠原 旭、辻 大樹、橋本 幸輝、文 靖子、吉田 幹宜

○監事：堀越

1. 開会の辞

鈴木（賢）副理事長より開会挨拶が行われた。

2. 理事長挨拶

近藤理事長より挨拶が行われた。

3. 議案審議

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会の定時総会に先立ち、進行役の高橋総務委員長より代議員総数75名のうち64名の出席があり、本総会は定款第17条の定足数を満たしており、成立している旨が報告された。

議長・副議長選出

本総会における議長・副議長の選出を行い、議長に浮谷 聡氏、副議長に上ノ段 友里氏が選出された。

4. 協議事項

第1号議案：令和6年度事業報告 および 第2号議案：令和6年度決算報告・監査報告

令和6年度における学会全体の活動および総務、財務、教育研修、地域医療連携、メーリングリスト運営、広報出版、臨床研究、認定制度、会員、会誌編集、渉外、利益相反、ガイドライン、実地研修の各委員会事業ならびにかかりつけ薬剤師・薬局のがん薬物療法に関する業務指針、免疫チェックポイント阻害薬マネジメント教育プログラム開発、専門性の高い薬局薬剤師の養成推進、がんゲノム医療、認定取得者のための支援体制整備検討、患者・市民参画、がん治療薬学生エキスパート、医療DXの各ワーキンググループの活動、令和6年度の診療報酬改定にて新設されたがん薬物療法体制充実加算の新設にむけた協力・支援について、大塚副理事長および各委員会・ワーキンググループ委員長または担当副理事長から報告された。

山口（健）財務委員長より、令和6年度決算が報告された。収支報告書（令和6年1月1日～同年12月31日）、貸借対照表（令和6年12月31日現在）、損益計算書（令和6年1月1日～同年12月31日）、販売費および一般管理費内訳書（令和6年1月1日～同年12月31日）について、配布された決算報告書に従い報告された。

山本監事より令和6年度における会計の帳簿や書類、通帳等を令和7年2月1日に監査し、全て適法かつ的確に執行されたことを確認したと報告された。

浮谷議長より、定款第17条により、令和6年度事業報告および令和6年度決算報告の両議案の決議は、総代議員の議決権の過半数を有する代議員が出席し、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行うと定められている旨が説明された。総会に出席の64名の代議員の表決を取り、賛成多数（賛成64名）をもって第1号議案および第2号議案は一括して承認された。

第3号議案：定款の変更

高橋総務委員長より、日本臨床腫瘍薬学会の定款第5章役員の項において、一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会は理事会設置法人であり、代表理事（理事長）選任は理事会で選任することが一般的であり、現在の定款第22条のように「理事の互選で代表理事（理事長）を選任する」という規定は、理事会設置法人ではない法人が定款で定めるものであることを踏まえ、令和6年度の理事会において第22条2の「理事長及び副理事長は、理事の互選により決定する。」を「理事会は理事の中から理事長および副理事長を選定する。」へ改正する改正案を提案され、承認されていることが説明された。

浮谷議長より、定款第17条により、定款の変更に関する決議は、総代議員の半数以上であって総代議員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行うものと定められている旨が説明された。総会に出席の64名の代議員の表決を取り、総代議員の議決権の3分の2以上となる賛成多数（賛成64名）をもって第3号議案は承認された。

第4号議案：代議員選任管理会幹事長の選任

高橋総務委員長より、令和8・9年度代議員選任選挙の日程が報告された。また、代議員選任規則第3条2項に基づき代議員選任管理会幹事長の候補者として中澤 寛仁氏が推薦された。

浮谷議長より、定款第17条により、令和8・9年度代議員選任管理会幹事長の選任の決議は、総代議員の議決権の過半数を有する代議員が出席し、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行うと定められている旨が説明された。総会に出席の64名の代議員の表決を取り、賛成多数（賛成64名）をもって第4号議案は承認された。

5. 報告事項

1) 令和7年度事業計画

松井副理事長より、報告事項1)、2)については、定款第40条および同41条に基づき、令和7年度開始の前日である令和6年12月31日までに理事長が作成し、令和7年2月15日の理事会決議を経て、本日の総会報告に至っていることが事前に説明され、令和7年度事業計画が配布資料に従い報告された。

2) 令和7年度事業予算

山口（健）財務委員長より、令和7年度事業予算がスライドに従い報告された。

3) 外来がん治療認定薬剤師認定結果

外来がん治療認定薬剤師更新状況

外来がん治療専門薬剤師認定結果

櫻井認定制度委員長より、外来がん治療認定薬剤師認定結果、外来がん治療認定薬剤師更新状況、外来がん治療専門薬剤師認定結果が報告された。

はじめに、新規の外来がん治療認定薬剤師として認定を受けたのは261名であったと報告された。次に、外来がん治療認定薬剤師更新者は553名となる見込みが報告された。最後に、外来がん治療専門薬剤師は令和6年度より認定審査を年6回実施し、279名が承認された旨が報告された。令和7年度は令和6年度同様6回実施する旨が報告された。

4) 質疑応答

上ノ段副議長より、今年度から代議員の施設および地域で活躍の日本腫瘍薬学会会員の意見を含め、学会運営等について、意見等を募ることになった旨の説明がされた。

意見①

各地域でのオンコロジー研修会で日本腫瘍薬学会の単位許可の場合、受講者より感想文以外に試験問題など他の単位許可基準を示す要望があり、地域で行う研修会の成果報告書の見直しをご検討してほしい。

回答①

櫻井認定制度委員長より、各地域で企画・開催されるオンコロジー研修会への参加を促す機会の1つとして、外来がん治療認定薬剤師認定のための講習会（研修会）の【新規】申請の単位の付与を活用していただくことを推奨している。

一方で、現行の運用では単位付与の条件として「感想文200文字以上の記載」が設定されているため、単位取得に至らなかったという報告もあり運用の見直しが必要と考えている。

今後は、認定制度委員会にて単位付与を管轄する資格審査小委員会や日本腫瘍薬学会事務局にて現状の振り返りと改善に向けた検討を行い、改定案が固まり次第、理事会にて協議

する方向で進めていくと回答された。

意見②

展望として日本腫瘍薬学会の「外来がん治療認定薬剤師」認定・更新試験に必要な履修単位の取得状況などを会員システムで確認出来るようにして欲しい旨と、会員システムがあるので、主催者側から受講者の情報（会員番号、氏名等）で紐づけして単位管理できるシステムに将来的に変更するなど学会として考えているのか目安を教えてください。

回答②

長久保会員委員長より、日本腫瘍薬学会主催以外のセミナーや研修会の参加によって取得した単位を会員マイページ内に表示させることには以下の懸念点が挙げられる。日本腫瘍薬学会主催セミナー以外の単位は「外来がん治療認定薬剤師新規申請」時のみ使用可能であり、更新申請では「対象外」となっているため、主催者側から受講者の情報（会員番号、氏名等）で一括して単位付与を行うと、資格更新の対象者内で混乱が生じる可能性があるため現状では実装について検討されておらず、実装する場合には、会員マイページの「資格認定」での表示とは切り分けて別ページでの単位表示等を検討する必要がある。このためには相応のシステム改修費用および作業費用が発生することが見込まれ、早急な実現は難しいと考えている。

まずはシステムの仕様および改修にかかる費用等について関連する委員会およびシステム会社と調整し、原案が固まり次第、理事会で協議する方向で進めていくと回答された。

5) 学術大会の予定

近藤理事長より、配布資料に従い、学術大会 2024（第 13 回）の参加者数が 4,003 名であったこと、令和 6 年度定時総会において報告しているとおり、学術大会 2025（第 14 回）が令和 7 年 3 月 15 日～16 日にパシフィコ横浜ノース、学術大会 2026（第 15 回）が令和 8 年 3 月 7 日～8 日に福岡国際会議場・福岡サンパレス、学術大会 2027（第 16 回）が令和 9 年 3 月 6 日～7 日に浜松アクトシティ、学術大会 2028（第 17 回）が令和 10 年 3 月 18 日～19 日に幕張メッセで開催される予定であることが報告された。

また運営規則第 5 条第 3 項に基づき、学術大会 2028（第 17 回）の大会長として、米村雅人氏（国立がん研究センター東病院）が選任されたことが報告された。なお、実行委員長は未定であると報告された。

6. 学術大会 2025 大会長・実行委員長挨拶

近藤直樹大会長、櫻井洋臣実行委員長より挨拶が行われた。

7. 閉会の辞

米村副理事長より閉会の挨拶が行われた。

以上をもって本日の議事を終了し、閉会した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席理事がこれに記名・押印する。

令和 7 年 3 月 14 日

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会定時総会

議長	浮谷 聡
副議長	上ノ段 友里
理事長	近藤 直樹
副理事長	大塚 昌孝
同	鈴木 賢一
同	松井 礼子
同	米村 雅人
理事	青柳 吉博
同	川上 和宜
同	小井土 啓一
同	櫻井 洋臣
同	清水 久範
同	下川 友香理
同	鈴木 真也
同	高橋 郷
同	玉木 慎也
同	長久保 久仁子
同	中澤 寛仁
同	中山 季昭
同	縄田 修一
同	野村 久祥
同	花香 淳一



同

松尾 宏一



同

村田 勇人



同

山口 健太郎



同

山口 拓洋



(以下余白)